

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成25年12月9日

未来の防災リーダーへの第一歩！ — 普賢岳噴火災害の驚異を学ぶ —

発信元

雲仙復興事務所
調査課 戸高 智範

平成25年11月21日、島原市立第五小学校三年生児童48名に出前講座を行いました。

当日は晴天に恵まれ、普段は雲に覆われることが多い平成新山を望みながら、児童たちは真剣な眼差しで講師の説明に耳を傾けていました。

学校からいただいた児童たちの感想集

○出前講座内容

- ・定点*1、火砕流で焼けこげた車両*2、柿の木坂*3、北上木場農業研修所跡*4の見学
- ・砂防施設を間近に見ながらの砂防事業説明

*1 平成の噴火時、火砕流を正面から撮影するために報道陣が撮影ポイントとしていた場所

*2 火砕流の熱風により焼けこげ、熱風の勢いで70mほど吹き飛ばされた車両もある

*3 火砕流で焼けながらも再生した柿の木を見ることができる

*4 平成の噴火時当初は住民の避難所となっていたが、火砕流頻発後は消防団の詰め所として使われていた



平成新山を背景に砂防事業説明



焼けこげた車両を見て火砕流の怖さを実感



再生した柿の木を見て「生きる力」を実感

○島原市立第五小学校

雲仙・普賢岳の噴火災害に伴う土石流により被災した安中地区の小学校。児童たちはこのほか、雲仙岳災害記念館や大野木場監視所も見学し、災害学習を通じて被災当時の安中地区の様子を学ぶことで、復興のために人々が努力してきたことに対する感謝の気持ちを深めました。

○児童の声(後日、第五小学校よりお礼状と児童たちの感想集をいただきました(右上))

- ・車を焼けこがすほど火砕流は恐ろしいものだとわかった
- ・知らなかったことをたくさん学ぶことができた